

R I 第2680地区クラブ奉仕セミナー
「ロータリーの原点に立ち返って」
 ロータリー原理体系の俯瞰図

1. 初期ロータリーの原理開発の軌跡

- 1905年 一業一会員制の原則と規則的例会出席の原則
- 1906年 Donald Carterの警告による社会的意義の自覚
- 1908年 Arthur Frederic Sheldonによる奉仕概念の形成
- 1910年 全米ロータリークラブ連合会創立・(1922年よりRI)
- 1915年 「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」採択による個人倫理の確立
- 1922年 RI設立・RI定款、細則及び標準クラブ定款採択による組織原理の確立
- 1923年 セントルイス国際大会で決議23-34号採択による実践原理の確立
- 1927年 四大奉仕概念の形成

2. 2分類法

- 入りて学び Enter to learn 出でて奉仕せよ Go forth to serve
 親睦によって「ロータリーは人を育てる」 自己研鑽・切磋琢磨
 Fellowship for Service = Mastery for Service
- 1974年度RI会長ウィリアム・ロビンス
 1989年度RI会長ヒューM. アーチャー
 二宮尊徳翁 「田畑を耕す前に先ず心の田畑を耕せ」
 達磨大師 「一花五葉を開く。結果自然にして成ず」

3. 即物的実践派 エドガー・アレン

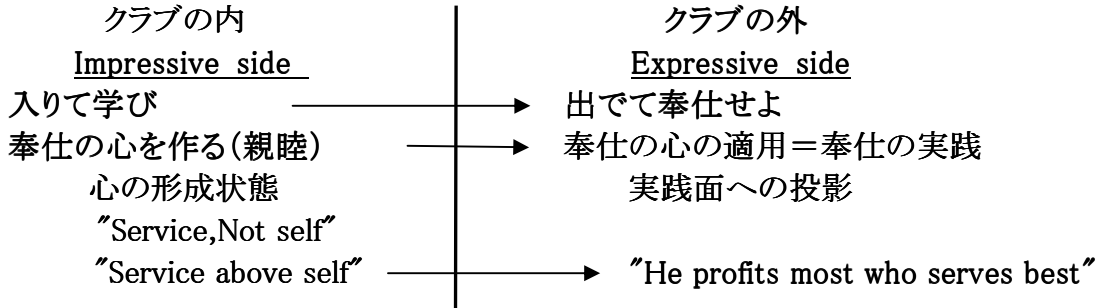
- 伝統的理論派 Arthur Frederic Sheldon ・ Guy Gundaker ガイ・ガンディカー
 1923年度セントルイス国際大会 ウィリアム・ウエストバーク
 ウイルR・メイニアーJr
 決議23-34号第4項 Frank L. Mulholland フランク・マルホランド

4. ロータリーの綱領

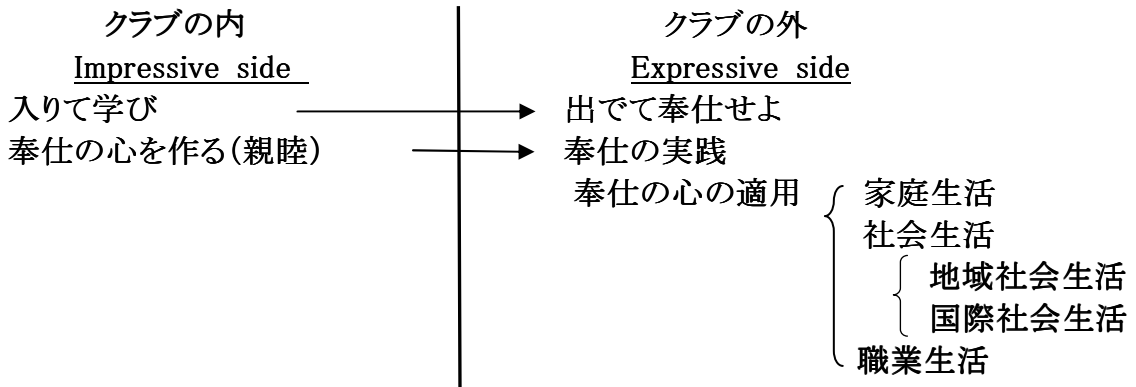
- 本文「ロータリーとは、企業の根底に奉仕を置くべしとする理想を提唱することを目的とするクラブ活動のことをいう」
 「利己と利他との調和」
 He profits most who serves best「奉仕に徹する者に最大の利益あり」
- 綱領の第1 「心の友を得て、以て奉仕の契機となすべきこと」
 綱領の第2-3 「自己の職業を以て天職と心得るべきこと」
 綱領の第2-2 「職業に貴賤なしとの自覚を深めるべきこと」【喫茶去】
 綱領の第2-1 「事業・専門職務の道徳的水準を高めること」
 綱領の第3 「ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること」

綱領の第4 「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること」

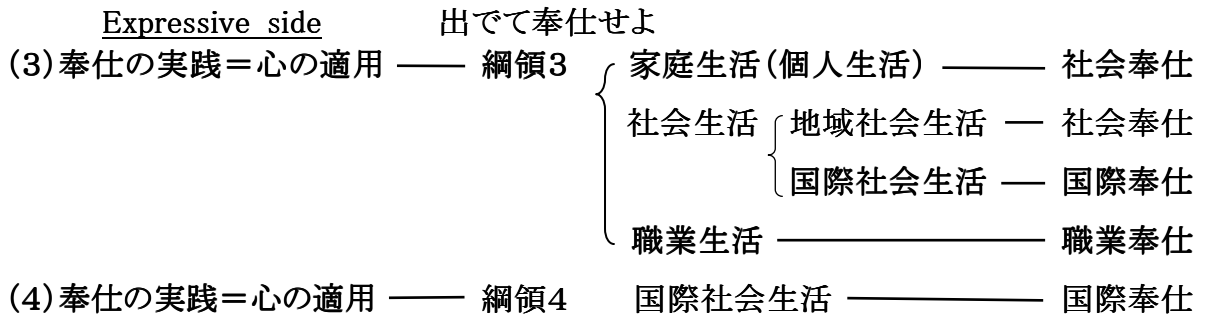
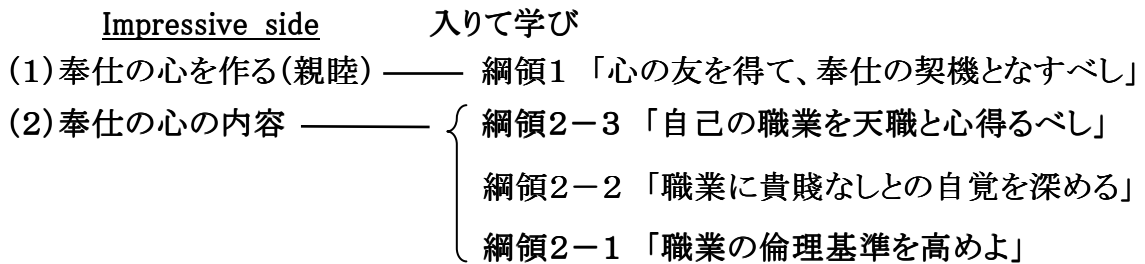
5. 奉仕の2分類法(1927年以前)



6. 奉仕の4分類法(1927年以後)



7. ロータリーの綱領(1922年時点)



(以上)